

令和8年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

令和8年度 WEC 応用生態研究助成の募集に、40件のご応募をいただきました。

採択の審査にあたっては、外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性、若手研究者の将来性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。厳正なる審査の結果、下記の5件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が、良い成果を上げることを期待します。

令和8年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2025-05	亜熱帯島嶼河川におけるダム下流の支川土砂供給が河床形態と魚類相に与える影響	北 輝斗	九州大学大学院 工学府土木工学専攻 流域システム工学研究室	1
2025-05	ダムは絶滅危惧種オガサワラコツブムシのレフュージアになり得るか？	富川 光	広島大学大学院 人間社会科学研究科	1
2025-05	ダム上流の河川最上流部に生息するホトケドジョウのナガレホトケ化	宮城 知広	千葉大学大学院 融合理工学府先進理化学専攻生物学コース	1
2025-05	河口堰放流操作の最適化に向けたアユ仔魚流下タイミングの予測手法の開発	永山 滋也	公立大学法人長野大学 共創情報科学部	2
2025-05	ダムは河川水の水安定同位体比の規則性に影響を与えているのか？一流域の地下水涵養域推定の適切な評価法の検討	藪崎 志穂	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所基盤研究部	2

また、令和7年度に2年研究として採択された下記1件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

令和7年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2025-02	ダム湖は降湖型マスを安定して維持できるのか？一回遊年数変異と流入河川がもたらす資源量安定化効果の検証	佐藤 拓哉	京都大学 生態学研究センター	2